

# 社会学部総合社会学科の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【学士（総合社会学）】

## 学部・学科の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）

社会学の考え方を基礎として、社会調査・情報収集の方法を修得し、メディアと社会との関わり（メディア社会）、生活と社会・自然環境との関わり（生活環境）、ビジネスと社会との関わり（ビジネス社会）という現代社会において相互に関わる3つの領域の知識を身につけ、現代社会を総合的に理解し、他者とともに現代社会の諸課題に主体的に関わり解決していく人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー	
DP1 知識・理解	(1)	1.社会学および各専攻の基礎的な知識を学ぶ。（総合社会学基礎演習Ⅰ～Ⅲ）（総合社会学入門）（総合社会学基礎科目）（総合社会学展開科目） 2.社会調査・情報収集の考え方および技法を学ぶ。（社会調査科目） 3.より専門的な知識を学び、総合的に現代社会を理解する。（各専攻科目） 4.講義だけでなく、フィールドワーク、実験・実習などの体験型学習により、学んだ知識の深化・体得を図る。（各実習・演習科目） 5.2年次以降の演習では、それぞれ課題を設定し、自ら動いて調査の設計、実行、データのまとめ、解釈、報告までを行い、主体性および創造性を養う。（総合社会学専門演習Ⅰ・Ⅱ、総合社会学卒業研究Ⅰ・Ⅱなど） 6.グループワークを通して、リーダーシップおよび他者と共同して目標を達成する技術および態度を身に着ける。（1年次から4年次までの各実習・演習科目）	総合社会学科では、以下のような学生を求めます。 1. 関心・意欲・態度 ・さまざまな社会現象・社会課題に関心を持つ、好奇心旺盛な人 ・社会に氾濫する情報の真偽を自分の目で確かめ、周囲の意見に流されない自分の考えを持ちたいと思う人 ・他者とともに主体的に行動する意欲のある人 2. 知識・教養 ・3つの領域を学ぶために必要な基礎学力※を習得した人 ※高等学校までに履修した主要教科（国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科）の基礎的な知識 ・基礎的な計算能力、論理的な思考力、科学的な分析力を習得した人 3. 思考力・判断力・表現力 ・目の前の現象に惑わされず、知識・教養を基盤として適切な判断のできる人 ・物事を総合的に捉えて理解できる人 ・自分の意見やアイデアを的確な方法で表現することができる人 4. 協調性・主体性 ・自ら学ぼうとする情熱や習慣をもつ人 ・新しい課題に率先して取り組もうとする姿勢を有する人 ・人と協力して、集団的な活動ができる人	
	(2)			メディア社会、生活環境、ビジネス社会に関する知識を学び、(1)とあわせて現代社会を総合的に理解している。
DP2 汎用的技能	(1)	1.社会学および各専攻の基礎的な知識を学ぶ。（総合社会学基礎演習Ⅰ～Ⅲ）（総合社会学入門）（総合社会学基礎科目）（総合社会学展開科目） 2.社会調査・情報収集の考え方および技法を学ぶ。（社会調査科目） 3.より専門的な知識を学び、総合的に現代社会を理解する。（各専攻科目） 4.講義だけでなく、フィールドワーク、実験・実習などの体験型学習により、学んだ知識の深化・体得を図る。（各実習・演習科目） 5.2年次以降の演習では、それぞれ課題を設定し、自ら動いて調査の設計、実行、データのまとめ、解釈、報告までを行い、主体性および創造性を養う。（総合社会学専門演習Ⅰ・Ⅱ、総合社会学卒業研究Ⅰ・Ⅱなど） 6.グループワークを通して、リーダーシップおよび他者と共同して目標を達成する技術および態度を身に着ける。（1年次から4年次までの各実習・演習科目）	総合社会学科では、以下のような学生を求めます。 1. 関心・意欲・態度 ・さまざまな社会現象・社会課題に関心を持つ、好奇心旺盛な人 ・社会に氾濫する情報の真偽を自分の目で確かめ、周囲の意見に流されない自分の考えを持ちたいと思う人 ・他者とともに主体的に行動する意欲のある人 2. 知識・教養 ・3つの領域を学ぶために必要な基礎学力※を習得した人 ※高等学校までに履修した主要教科（国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科）の基礎的な知識 ・基礎的な計算能力、論理的な思考力、科学的な分析力を習得した人 3. 思考力・判断力・表現力 ・目の前の現象に惑わされず、知識・教養を基盤として適切な判断のできる人 ・物事を総合的に捉えて理解できる人 ・自分の意見やアイデアを的確な方法で表現することができる人 4. 協調性・主体性 ・自ら学ぼうとする情熱や習慣をもつ人 ・新しい課題に率先して取り組もうとする姿勢を有する人 ・人と協力して、集団的な活動ができる人	
	(2)			フィールドワークや社会調査など社会調査の技法を用いて社会現象や社会課題に関する情報を適切に収集することができる。
	(3)			情報発信やプレゼンテーションを、相応しいツールやテクニックを駆使して行うことができる。
	(4)			社会課題の解決に向けて、他者とともに主体的に行動する方法を身につけている。
DP3 態度・志向性	(1)	1.社会学および各専攻の基礎的な知識を学ぶ。（総合社会学基礎演習Ⅰ～Ⅲ）（総合社会学入門）（総合社会学基礎科目）（総合社会学展開科目） 2.社会調査・情報収集の考え方および技法を学ぶ。（社会調査科目） 3.より専門的な知識を学び、総合的に現代社会を理解する。（各専攻科目） 4.講義だけでなく、フィールドワーク、実験・実習などの体験型学習により、学んだ知識の深化・体得を図る。（各実習・演習科目） 5.2年次以降の演習では、それぞれ課題を設定し、自ら動いて調査の設計、実行、データのまとめ、解釈、報告までを行い、主体性および創造性を養う。（総合社会学専門演習Ⅰ・Ⅱ、総合社会学卒業研究Ⅰ・Ⅱなど） 6.グループワークを通して、リーダーシップおよび他者と共同して目標を達成する技術および態度を身に着ける。（1年次から4年次までの各実習・演習科目）	総合社会学科では、以下のような学生を求めます。 1. 関心・意欲・態度 ・さまざまな社会現象・社会課題に関心を持つ、好奇心旺盛な人 ・社会に氾濫する情報の真偽を自分の目で確かめ、周囲の意見に流されない自分の考えを持ちたいと思う人 ・他者とともに主体的に行動する意欲のある人 2. 知識・教養 ・3つの領域を学ぶために必要な基礎学力※を習得した人 ※高等学校までに履修した主要教科（国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科）の基礎的な知識 ・基礎的な計算能力、論理的な思考力、科学的な分析力を習得した人 3. 思考力・判断力・表現力 ・目の前の現象に惑わされず、知識・教養を基盤として適切な判断のできる人 ・物事を総合的に捉えて理解できる人 ・自分の意見やアイデアを的確な方法で表現することができる人 4. 協調性・主体性 ・自ら学ぼうとする情熱や習慣をもつ人 ・新しい課題に率先して取り組もうとする姿勢を有する人 ・人と協力して、集団的な活動ができる人	
	(2)			統計的数値・図表・解釈方法などをうのみにせず、根拠を重視して論理的に吟味する批判的思考の態度を身につけている。
	(3)			社会課題や問題解決に向けて、他者とともに主体的に行動する態度を身につけている。
DP4 統合的な学習経験と創造的な思考力	(1)	1.社会学および各専攻の基礎的な知識を学ぶ。（総合社会学基礎演習Ⅰ～Ⅲ）（総合社会学入門）（総合社会学基礎科目）（総合社会学展開科目） 2.社会調査・情報収集の考え方および技法を学ぶ。（社会調査科目） 3.より専門的な知識を学び、総合的に現代社会を理解する。（各専攻科目） 4.講義だけでなく、フィールドワーク、実験・実習などの体験型学習により、学んだ知識の深化・体得を図る。（各実習・演習科目） 5.2年次以降の演習では、それぞれ課題を設定し、自ら動いて調査の設計、実行、データのまとめ、解釈、報告までを行い、主体性および創造性を養う。（総合社会学専門演習Ⅰ・Ⅱ、総合社会学卒業研究Ⅰ・Ⅱなど） 6.グループワークを通して、リーダーシップおよび他者と共同して目標を達成する技術および態度を身に着ける。（1年次から4年次までの各実習・演習科目）	総合社会学科では、以下のような学生を求めます。 1. 関心・意欲・態度 ・さまざまな社会現象・社会課題に関心を持つ、好奇心旺盛な人 ・社会に氾濫する情報の真偽を自分の目で確かめ、周囲の意見に流されない自分の考えを持ちたいと思う人 ・他者とともに主体的に行動する意欲のある人 2. 知識・教養 ・3つの領域を学ぶために必要な基礎学力※を習得した人 ※高等学校までに履修した主要教科（国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科）の基礎的な知識 ・基礎的な計算能力、論理的な思考力、科学的な分析力を習得した人 3. 思考力・判断力・表現力 ・目の前の現象に惑わされず、知識・教養を基盤として適切な判断のできる人 ・物事を総合的に捉えて理解できる人 ・自分の意見やアイデアを的確な方法で表現することができる人 4. 協調性・主体性 ・自ら学ぼうとする情熱や習慣をもつ人 ・新しい課題に率先して取り組もうとする姿勢を有する人 ・人と協力して、集団的な活動ができる人	
	(2)			自分なりの考えを責任をもって他者に積極的に提案・発信することができる。